

地域のニーズに答える 作業所づくりをめぐって

昭和五十八年スタート以来早や五年が過ぎ
 昭和六十三年度に向けて重点に帰えり、新しい
 作業所づくりをめぐって行きたい

精神障害者のための
 作業所が必要だというニ
 とで始まりました。当作
 業所も今年で五年を迎え
 ることになりました。現
 在の場所（国部町土木道
 に隣接する）には、御考
 慮により撤去して、かや
 ぶきの敷を借りてもら
 ったり、身体障害者授産
 施設「京都太陽の園」の
 一隅をおかりするような
 ことになりました。
 国部保健所・市町村行政

各町社会福祉協議会、友
 族会の方々には充足の当
 時から多くの協力を得て
 現在にいたっており、深
 く感謝いたしております。
 作業所も用所当時五名だ
 った通所者も現在二十名
 となり、非常に活動的にな
 りました。運営についても
 存市町からの補助金を基
 として、又昭和六十三年度
 国庫補助対象作業所とな
 り、東京都共同基金会や

東京都社会福祉事業団
 より設備助成の援助を受
 けて、安定前進状態にあ
 り、よろこんであります。
 通所者の方々にとっても
 作業所での作業や健生会
 各レクリエーション行事
 を通じて、生活意欲がで
 きたり活動的になって
 きています。作業所の社
 会的役割をい
 えてきた一層の努力をし
 たいと思っております。

それによって、作業内容
 の工夫、支給する工賃の
 アップ、生活指導を強め
 ることなど解決してい
 くとともに、解決して
 いる問題は多々あります。
 今年にこうした種々の問題
 解決に努力するこは、も
 ろろん、地域の要求に答
 える作業所づくりを目的
 として考えています。

国部共同作業所
 所長 杉山 俊夫



〈寄付金の部〉

- 11/10 吉田さあ様
- 12/18 和智社協様
- 12/19 日吉所婦人会様
- 12/23 瑞穂所社協様
- 1/13 片山左一様
- 1/11 片山信代様
- 2/2 神宮福光様
- 2/19 涉よし様
- 2/26 土井はみ様
- 3/25 城島幹夫様
- 3/25 垣村武夫様

〈物品の部〉

- 6/2 丹波町障害児を守る親の会様、カルロス
- 12/15 東京都新団社会福祉事業団様、石神をこ様
- 12/19 日吉所婦人会様、ミカン
- 12/23 八木町社協様、日用品
- 12/25 教員小、山本多公様、17222
- 3/29 東京都共同基金会、1夜学校

ありがとうございました。
 さざいしました。



